

黒田総裁記者会見要旨(4月20日)

——G20・G7終了後の鈴木財務大臣兼内閣府特命担当大臣、黒田総裁 共同記者会見における総裁
発言要旨

2022年4月22日

日本銀行

—— 於・ワシントンDC

2022年4月20日(水)

午後10時33分から約30分間(現地時間)

【冒頭発言】

議論の内容については、ただいま鈴木大臣からご説明があった通りです。G7財務大臣・中央銀行総裁会議では、ロシアのウクライナ侵攻が世界経済に与える影響について詳細な議論が行われ、私からは、資源価格の上昇などが日本経済に与える影響について説明しました。

G20財務大臣・中央銀行総裁会議においても、ロシアのウクライナ侵攻が、日本経済や物価に与える影響について説明したところです。

【問】

黒田総裁に質問します。G7でも為替の問題、為替について言及があったということなんですけれども、総裁は、18日の国会では1か月ほどで10円くらい進んでいて、かなり急速な為替の変動だというふうに発言されています。その後も円相場は1ドル129円台前半まで下落してしまっていて、この急な動きについての受け止めをお願いします。また、経済界からは業界によっては懸念する声が上がっていますが、このまま円安が続いてもプラスという考えに変わりはないか、経済にマイナス面は出てこないのか、お願いします。

【答】

私の立場から為替相場について具体的にコメントすることは差し控えさせていただきます。日本銀行としては、為替相場は、経済や金融のファンダメンタルズを反映して安定的に推移することが望ましいと考えており、為替相場が短期的に過度に変動しますと、先行きの不確実性を高め、企業の事業計画の策定等が難しくなる面もあります。日本銀行としては、為替相場の変動が経済・物価に与える影響には十分注意してみていきたいと思っています。

【問】

為替について大臣と総裁にそれぞれお伺いできればと思います。先日の閣議後会見で米国と通貨について連携していきたいとお話がありましたが、今後、日米での財務相会談なども調整されているかと思いますが、そうした中で米国とはどういった為替政策について協調した政策を議論していきたいとお考えなのか、お伺いできればと思います。黒田総裁には、そうした中でどのような議論に期待なさっているのかという点も併せてお伺いできればと思います。

【答】

私からは先ほど申し上げた通りであり、また鈴木大臣がおっしゃった通りかと思えます。

以 上